

常葉学園だより

常葉学園本部
 常葉学園大学・大学院
 浜松大学・大学院
 富士常葉大学・大学院
 常葉学園短期大学
 常葉学園高等学校・中学校
 常葉学園菊川高等学校・中学校
 常葉学園大学教育学部附属橘小学校
 常葉短大附属とこは幼稚園
 常葉短大附属たちばな幼稚園
 常葉学園医療専門学校
 常葉学園静岡リハビリテーション専門学校

第193号



診療室



浜大7・8号館



柔道整復学実習



鍼灸実習風景



新学科開設

健康鍼灸学科・健康柔道整復学科

浜松大学健康プロデュース学部
健康鍼灸学科長 教授 内藤 恭久

一方、柔道整復学科は主に整復・固定を基本として、骨折・脱臼・打撲・捻挫等の急性外傷に対する療法を学ぶ学問で、鍼灸治療とともにスポーツをはじめ国民の健康に資する重要な役割を担ってきました。そしてこれらの東洋医学は現代医学の補完療法の一役を担いつつ、他方では独立した統合医療として、独自の発展を遂げつつあります。特に、安価で治療院が開設でき、かつ、安価な治療費で患者さんの健康に大きく貢献できるようなになり、特に、東南アジアなどの発展途上国では盛んであります。しかし、これら東洋医学の一般認識は低く、今後はさらに治療現場の確かな実績を通して、人々の正しい理解に向けた地道な努力が必要であります。

最後に昨年、常葉学園橘高等学校の野球部が甲子園に出場しました。エース・ピッチャーの庄司君が肩や肘の痛みを克服し、連投に続く連投が出来たのは鍼灸師であるお兄さんの協力があってのことです。そのお兄さんは常葉学園医療専門学校鍼灸学科の一期生で、懐かしい教え子の一人です。

本年度から浜松大学の健康プロデュース学部健康鍼灸学科と健康柔道整復学科が開設されました。平成17年、常葉学園医療専門学校鍼灸学科・柔道整復科の高い教養・学識・医療技術・学際的研究能力を持った優秀な人材を育成するために浜松大学へと発展・改組致しました。

日本の鍼灸師・柔道整復師の育成機関は専門学校が主であり、鍼灸学科は90校、柔道整復学科は98校あるのに対し、大学はわずか各10校しかありません。しかしながら、国内外を問わず、特に、鍼灸医学は、疾病の原因と治療効果の因果関係を究明することで、安定した治療方法を確立することが急務となつてきており、鍼灸・柔道整復医療を含む、東洋医学の教育は大学が中心の場となつてきました。その理由の一つは、日本・欧米・共産圏諸国における医療費の高騰は、国民の家計費や政府の医療財政を圧迫し、「病気の治療から病気になるための未病対策」が医療費の高騰を防ぎ、国民生活のQOLを高める本格的な医療となるべく、特に、施鍼・施灸の効果が大きくライト・アップされてきました。現在、日本の鍼灸治療の質の高さは、WHOやドイツで高い評価を受けており、国民健康サービスへの貢献が期待されています。鍼灸治療が現代医学と統合し、医学的・科学的根拠のもとに、うつ病・慢性疾患・リウマチ・アトピー性皮膚炎・胆嚢炎などの治療効果が証明され、鍼灸治療の高血圧症緩和への医学的根拠も判明してきました。また、施鍼・施灸はスポーツ・美容方面への期待も高まっています。現在では、「鍼は痛いもの」、「感染症が恐ろしい」、などといった旧来のイメージは完全に払拭されました。

常葉大 DO-ing 認証式

8プロジェクトの代表



学長より認証の授与

5年目迎える、本学独自の学生支援(人間力育成活動)「DO-ing」の活動が、認証式を受けてスタートしました。「DO-ing」とは学生の企画力、実行力、運営能力を大学がバックアップし、「大学活性化」「地域活性化」「地域貢献」「地域ネットワーク構築」の4つのテーマから1つを選択し「やってみよう」というプロジェクトの活動を行うものです。今年は「エコキャ

プ推進運動」「2010チャレンジキッズ」「万葉植物園の活性化」「ハテナの種まく・感動の芽を出すギャラリートーク」「Enjoy Music ～音楽で心も体も元気になろう!!～」」「For The smile of children ～子どもの未来を救おう～」」「常大PRODUCT」「サイエンスフェスティバル10」の8プロジェクトが認定され、積極的な活動を繰り広げています。

常葉短大 第1回 オープンキャンパス開催



卒業生トークショーの様様

常葉短大では、今年度の第1回目となるオープンキャンパスを5月15日(土)に開催しました。今回の5月スタートは、短大では初の試みとなります。さらに、今年度は開催日ごとにテーマを設定し、高校生が毎回参加しても新たな発見ができ、楽しめるような内容に工夫しました。第1回のテーマは「常葉短大とは? <入門編>」。当日は約250名の方々にご参加いただき、中庭で卒業生トークショー、学生によるサークル活動紹介やミニコンサートなどのイベントも行いました。今後の予定は、第2回7月24日(土)、第3回8月20日(金)、第4回9月11日(土)、いずれも13:00開始です。(受付12:30～)

浜松大 ThunderBirdsが「青少年の表彰」善行奨励賞受賞



サンダーバードメンバー

ボランティアサークルThunderbirdsが、浜松市「青少年の表彰」で昨年に引き続き善行奨励賞を2年連続受賞しました。この賞は、地域の文化活動や奉仕活動などに積極的に取り組んでいる青少年や団体の活動を奨励するもので、同サークルは日頃より募金活動、学習ボランティア活動やイベントボランティア、エコキャップ活動、地域清掃活動等、様々なボランティア活動を積極的に行っています。

橘中・高 ラモス瑠偉氏来校に生徒大興奮



高校女子サッカー部員との写真撮影に笑顔で応じるラモス瑠偉氏(上段中央)

5月14日、一流スポーツ選手の講話や競技人生から、自ら課題を見つけ、学び、考え、行動することで人間的な成長をしてほしいという目的の下、ラモス瑠偉氏と本校男女サッカー部との交流会が行われ、部員たちはラモス氏の学生時代やJリーグ時代の話に真剣に耳を傾けていました。講話後、ラモス氏は部員たちの質問や写真撮影、サインなどにも気さくにに応じてくれ、大興奮の一日となりました。部員たちはラモス氏から学んだことを胸に、今後大いに活躍してくれるでしょう。

富士常葉大 富士常葉大学社会環境学部 新人キャンプ



富士山麓山の村(標高1000m)、まだ寒かった!

富士山での森林体験を通して学生と教員相互の交流を深めることを目的に、富士山麓山の村で4月17日から1泊2日で新人キャンプを実施しました。枝打ち、幹巻き作業、森林観察会やクラスごとの富士山の環境についての発表会など楽しみました。

静岡リハ専 研修センターゼミ



座禅堂にて

5月6日～8日の3日間、6期生の研修センターゼミが開催されました。「静」の時間を大切に「自分」を見つめなおすことを目標に、座禅や食事の場面で武山和尚さんからお話を伺い、有意義な研修となりました。

常葉大 「教師力アップ」を目指して



教師力アップ講座の様子

常葉学園大学教職大学院では、大学院開設当初より、ストレートマスター及び現職教員学生の教師力を向上させる取り組みとして「教師力アップ講座」を特設しています。教職大学院の専任教員の特別講義をはじめとして、学校現場経験豊かな現職教員学生による講話やストレートマスターが行う模擬授業に対する指導等、学校現場に直結した課題等をストレートマスターと現職教員学生の「協働力」で見出したり、解決したりしています。ストレートマスターは教師としての基礎的な構えや自分の考えを再構築し直す場となり、現職教員学生にとってはスクールリーダーとして新人教員に対する指導方法を身に付ける場となっています。

富士常葉大 渡辺捕手東海学生野球リーグベストナインに選出



打席に立つ渡辺章将選手

東海地区大学野球連盟静岡県学生野球リーグ春季リーグ戦において、渡辺章将捕手(環境防災学部3年・橘高校出身)がリーグ戦での打撃成績が評価され、ベストナインに選出されました。今後もチームの要として活躍を期待します。

常葉短大 ボーリング大会で新入生を歓迎!



ボーリングを楽しむ学生達

英語英文科は、4月17日に新入生歓迎会を行いました。会場は静岡市内のボーリング場。1レーン4～5人で1・2年生混成チームを作り、20チーム以上でスコアを競いました。はじめはお互いの様子をうかがっていた1年生と2年ですが、ランチパーティの頃にはすっかり和やかな雰囲気となりました。

浜松大 こどもの秘密基地製作 こども健康学科



5月22日、浜松大学こども健康学科の学生が主催する「こどもむら」で「ツリーハウスづくり」がスタートしました。これは地元都田建設様の協力を得て実現したプロジェクトで、自然の遊び場を提供し、こども達の心の健康を育むことを目的としています。この日は参加した親子約300人と学生と一緒に材料のペンキ塗り作業に取り組みました。



木材にペンキを塗る親子

橘高 自らの殻を破り大成長の春

～英数科の新たな伝統を
つくり上げた学習合宿～



夜、英語の授業に臨む生徒たち

昨年度末英数科新3年生対象に、3年生となる直前に英国数3教科の底上げをねらって英数科で初の学習合宿が行われました。食事と入浴、就寝以外はすべて学習時間に充てられ、5泊6日で合計60時間以上机に向かいました。合宿は多くの先生方に見守られながら成功し、有意義な時間を過ごすことができ、最高の3年次のスタートを切ることができました。

浜松大

広沢バレーボールスポーツ少年団でボランティア

心身マネジメント学科の木村ゼミの学生たちが、広沢バレーボールスポーツ少年団で週2回(水・土曜日)開催される練習にボランティアとして参加しています。これはゼミナール活動の一環として行われており、将来、保健体育の教員やコーチを目指す学生たちの貴重な体験の場となっています。

▼木村ゼミの学生と広沢スポ少の児童たち



常葉大

新メンバーでマナーアップ呼び掛け ～学友会～

常葉学園大学学友会が新メンバーで活動を開始しました。年間を通じて活動を行う「マナーアップ」については、日々の呼び掛けと「ポスター」での周知活動のほかに、創立記念式典や学生大会等、学生が一堂に集まる機会を利用し、学友会代表者より直接協力を依頼しています。今年前半の活動は「ペットボトルキャップ回収」「あいさつ運動」「校内清掃」「駐輪マナー」がメインです。学友会を中心に学生同士協力から大学内のみならず、学外にまで「マナーアップ」活動が広がることを目指しています。



▲本年度の学友会メンバー

静岡リハ専

臨床実習

4月19日から10月30日まで3期に分けて、本校4年生が長期臨床実習を行っています。臨床の場で実際の患者様を通じて、今まで学んできた知識を統合し、技術を取得する良い機会です。ひとまわり大きく成長してくることを期待しています。



▲患者さんの関節を計測

常葉中・高

カウンセリング講座

思春期真っ只中の中学生。大人でも人との付き合いで困惑することはしばしばです。悩み多き中学生にカウンセラーの海野先生から「十人十色」というテーマでお話しして頂きました。人は一人ひとり違い、誰でも良い所が必ずあります。自分の感情だけで人を見ず、その人の良い面を探し、理解しお互いを認め合う。そんな話を寸劇を交えて分かりやすくお話しして下さいました。



▲先生の話に真剣なまなざし

菊川中・高

静岡県高校総体

5月29日、30日の2日間にわたって静岡県高校総体女子ソフトボール競技が行われました。2回戦、昨秋の新人戦決勝で対戦した東部1位の飛龍戦では、主将・濱村投手が味方の守備に助けられながらも無失点で抑え、2-0で勝利しました。決勝戦では、中部1位の城南静岡とシーソー

橘中・高

エコキャップ運動への参加



▲少林寺拳法部員と回収した49kgのキャップ

橘中・高少林寺拳法部では、昨年「エコキャップ運動」へ参加しています。ペットボトルのキャップが世界の子どもたちへのポリオ(小児麻痺)ワクチンに変わることを知り、この運動に賛同し、参加を始めました。少林寺拳法の修練には、相對稽古があります。この相對稽古は相手を思い、相手に役立ちながら自分も上達するという「自他共栄」を図る要素があります。この少林寺拳法の教えを部員だけでなく、部活動を離れた家庭・学校、社会に広げ実践していくことが真の「自他共栄の教え」だと考え、私たちができる身近なひとつとして参加しました。今、ペットボトル飲料が手軽に飲まれています。このキャップが無駄に捨てられ焼却処分されている中、私たちの少しの努力で失われていく命を救い、またリサイクルされることで地球にも優しいCO2の削減にもなるのです。この1年間で集めたキャップは、総量49kg(約19,600個)になりました。私たちの集めたキャップが24人の尊い命を救えたと思うと嬉しく、また頑張ろうという思いになりました。来年は今年以上に集めます。みなさんも、家庭などで飲んだキャップを少林寺拳法部の「エコキャップ運動」に参加、協力してください。

オレたち高校野球★応援組

本校応援団と吹奏楽部がSBSラジオ「ニテキトナイト」の取材を受けました。同番組からは去年も取材を受けていたこともあり、来校した鬼頭里枝アナウンサーから夏への意気込みや普段の練習の様子、そして去年の甲子園でのエピソードなどを聞かれ、終始リラックスムードで取材が行われました。また校歌と「M.V.橘」の演奏・演舞をし、夏に向けてナインへエールを送りました。



▲鬼頭アナウンサー(中央)からの取材に臨む応援団チアリーダー部員



全国大会もがんばります!



橘中・高

研修センター合宿始まる

静の生活を体験する目的で学園各校で行われている研修センター合宿が、4月26日から中学1年生を皮切りに始まりました。合宿中は登校せず各集団で決めた研修を行い、中学1年生は長縄跳び大会、高校一貫コースは工場見学と自衛隊体験入隊をしました。長縄跳びは、慣れないクラスの中でお互い声をかけ合い励まし合いました。自衛隊体験入隊は生徒たちに評判がよく、学校を離れ普段できないさまざまな体験をすることで、机上の学習だけでは学べない多くのことを学んでくれたと思います。



▲クラス対抗の長縄跳び大会に燃える生徒たち



▲竹山和尚の話に真剣に耳を傾ける中学生

常葉短大

「子どもと自然」ゼミ 竜爪山登山

5月の連休を利用して、ゼミ合宿を行いました。短大の中庭でテント泊や野外料理を体験し、翌日は竜爪山を越えて西里温泉までのハイキングを楽しみました。途中でカモシカに出会い、感動いっぱいだった。今後は小学生とのキャンプに向けて、キャンプ技術を学んでいく予定です。



▲清流の音が心地よい登山道

常葉中・高

小前先生 赤羽消防署より感謝状

3月9日より日本体育協会公認スポーツ指導員の講習を約40時間受けるため、4泊5日で東京へ出張していた小前宏史先生が、赤羽消防署から感謝状を頂きました。宿泊最終日の夜、同僚3名と宿舎へ帰る途中、一軒の飲食店から煙が出ているのを発見しました。中へ入ると台所から出火しており、腕を火傷しながらも、火を消そうとその場から動かないお年寄りがいました。他にも2階にいたお年寄りも含め3名を同行していた方と協力し安全な場所へ救出しました。火が燃え上がろうとしているにもかかわらず、火を消しに行こうとする店の主人を見て、人間の物に対する執着心の怖さを垣間見ると共に冷静に「命があればやり直しはできる」と思い必死に食い止めました。その矢先、火は建物全体に燃え上がったとのことです。



どこは幼

フルーツポンチを作ったよ♪

フルーツいっぱい〜!



たちはな幼

年少 初めての園外保育

先生より高いよ!!



どこは保育サービスセンター

静岡まつりに出たよ

来年もみんなでおどろよ
さあ一緒に踊ろうよ
参加者募集中



常葉中・高 中三修学旅行

5月18日～21日の三泊四日の日程で中学三年生が修学旅行へ行ってきました。北海道の大自然から学び得てきたものは、日常生活では体験できないものばかりで全てが新鮮だったようです。このような経験ができたのも毎日一所懸命に働いて下さる親御さんのお陰です。感謝の気持ちを忘れず今後の生活へ生かして欲しいと思います。



雄大な自然にビックリ!▲

静岡リハ専 球技大会

6月8日(火)に静岡中央体育館にて球技大会が行われました。各クラスではオリジナルのTシャツを製作して団結を高め、ともに汗を流して学生同士の親睦も深めることができました。



白熱した試合展開▲

常葉リハ病院 常葉リハビリテーション病院の紹介

当院は平成14年4月に開院しました。現在の入院ベッド数は51床で、すべて回復期リハビリテーション病棟となっています。回復期リハビリテーション病棟とは骨折や脳卒中により身体機能が低下した患者様に、早期、また大量にリハビリテーションを行い社会復帰を早めようとする病棟のことで、医師をはじめとした多くのスタッフがチームとなって治療にあたっています。標榜科はリハビリテーション科、整形外科、内科、リウマチ科、放射線科で、外来診療も毎日(月～金)行っています。その他、浜松大学保健医療学部、静岡リハビリテーション専門学校、医療専門学校の実習病院にもなっていて、毎年多くの実習生を受け入れています。保護者を含む学園関係者の皆様、リハビリテーションに関する事は勿論、病気やけがの事から健康相談までどうぞ当院をご利用下さい。

常葉リハビリテーション病院 事務長 小泉康次

菊川中・高 菊川市上倉沢のせんがまち棚田で「田植え体験」

5月29日(土)、菊川中学2年生は菊川市の要請を受け、棚田での田植えの校外学習に出かけました。

NPO法人せんがまち棚田倶楽部の方に、棚田についての説明をしていただいた後、ボランティアの静岡大学の学生に指導をしていただいて、田植えをしました。

稲の苗の束を渡され、棚田の田んぼに横一列に並び、15cm間隔で、苗をクラス毎に全員で植えていきました。田んぼの泥の感触に驚いたり、カエルやオタマジャクシに驚いたりする生徒もいましたが、自分の担当したところを一生懸命に植えていました。列が少し斜めになったところもありましたが、良いお天気と棚田のすばらしい風景の中、楽しく学ぶことができた1日でした。



▲中学2年校外学習

橘中・高 新たな仲間と親睦を深めよう

5月7日、新しいクラスメイトとの親睦を深めるためHRディ(春の遠足)が行われました。バーベキューや水族館見学、横浜中華街や鎌倉散策など、各クラスさまざまな場所に出かけ、楽しく有意義な1日を過ごしました。また同日、中等部は船越堤公園への遠足を予定していましたが、あいにくの天候のため体育館でのドッチボール大会となりました。男女別、学年の枠をこえてのドッチボールに汗を流し、クラスはもちろん、中等部としての団結も深まりました。



▲バーベキューを楽しむ生徒たち



橘小 「3年次教育実習終わる 一夢の教職目指し、全力投球ー」

教職を目指す学生にとっての登竜門、3年次教育実習がここ附属橘小学校で行われました。今年度は20名、5月10日から28日までの3週間。どの実習生も、真剣に、全力で取り組み、本当の先生になるんだという強い思いであふれていました。実際に黒板の前に立ち、チョークを走らせ、子どもと向き合う中で少しずつ教師としての責任の重さを学びつつありました。授業が上手くいかず、涙する姿もありましたが、指導教員の熱い励まし、厚い指導に支えられ、這い上がってくる姿には、若者らしい逞しさと清純さを感じられました。そして、子ども達の元気いっぴいの笑顔。笑顔につつまれた瞬間、本当に助けられた、励まされた、暗闇の中に一筋の光を見るようだった、そんな実習生の思いを、日々提出される実習録の中から、私たち教師は感じとっていました。子ども達には「ありがとう」、そして、実習生の君達には「よくがんばった」「本当の先生になって子ども達の期待に応えてほしい」そう言ってあげたい思いでいっぱいです。

教育実習を終えて、川口真代さん(常葉大・生涯学習学科3年)は「子どもの目線に立ち、一緒に成長しながら子ども達の将来の夢に少しでも関わってみたいなような先生になりたい」。また、本校卒業生で、東京から実習に参加した、関江里花さん(日本女子大・児童学科3年)は、「出発点と到達点をきちんと定め、その道のりを児童と共に歩みながら全力で支えることの出来る教師になりたい」と、実習を振り返り、教師を目指す思いの深さを語ってくれました。

私達、附属橘小学校教職員は、実習生一人ひとりの『輝く未来』に心からのエールを送ります。



▲川口真代さん 1年2組・算数「いくついくつ」授業風景



▲関江里花さん 5年3組・国語「詩を味わおう」

子どもたちに楽しいお話のひと時を 一読みかせボランティア「BOOKママ」

橘小学校では月に一度、朝の時間に保護者有志による読み聞かせ活動を行っています。その名も「BOOKママのお話タイム」。発足して7年目になり、絵本の情報交換や紙芝居作りなど有志の活動も活発になる一方、ここ数年はメンバー不足が悩みの種です。それでも「子どもたちに楽しいお話のひとときを」という発足当時から変わらぬ願いのもと、忙しい合間をぬって今月も14人のメンバーが集まりました。

8時15分。「はじまり はじまり…」と表紙をひらくと、読み聞かせのお母様を囲んで座った子どもたちの目が絵本にすいよせられるように集まります。しっとり、ほんわかと、ある時はぴんとはりつめた…。それぞれの教室にそれぞれのまあるい空間が生まれます。たった15分の短いお話タイムですが、子どもたちにとってもお母様にとっても、充実した潤いの時間なのです。



常葉学園大学 創立30周年記念
Arts&Design展

常葉学園大学 造形学部
〒426-8602 静岡県静岡市清水区常葉1-1-1
TEL:054-253-1111 FAX:054-253-1112
http://www.wakayama.ac.jp

2010年7月17日(土)～21日(水)
静岡コンベンションセンター グランシップ6 6階
10:00～17:00 入場無料

①キャラクタートーク
7月17日(土) 10:30～12:00
②パルティトーク
7月18日(日) 13:30～15:00
③30周年記念特別トークショー
7月19日(月) 13:30～15:00
④常葉学園大学 30周年記念特別トークショー
7月20日(火) 13:30～15:00
⑤常葉学園大学 30周年記念特別トークショー
7月21日(水) 13:30～15:00



常葉学園大学 創立30周年記念
Arts&Design展

夏を先取り！水がキラキラ
目もキラキラ!!

ポカポカいい天気、みんなで青葉公園へお散歩。
ジョウロ・バケツ・スプーン・カップなど水遊びの道具と着替えを持って出発！
水が大好きな子ども達。ゴツゴツした石ばかりの道でもスタスタ歩き水さがし。
「あっ危ない」と思っても大丈夫。転びません。
どこから水が出るのかジッと石の山を見つめ場所がわかるとみんなで集合！スプーンやカップですくったり周りにまいて大喜び。水がかかってもへっちゃら。夏がくるのが待ち遠しい子ども達です。

とこは
保育サービス
センター



●平成21年度決算について●

学校法人常葉学園の平成21年度の決算は、去る5月15日開催の理事会及び評議員会において承認されました。

■資金収支計算書 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで (単位:千円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------|-------------|-----------|------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 学生生徒等納付金収入 | 8,547,627 | 人件費支出 | 7,628,649 |
| 手数料収入 | 172,202 | 教育研究経費支出 | 1,801,592 |
| 寄付金収入 | 88,546 | 管理経費支出 | 830,960 |
| 補助金収入 | 2,249,842 | 借入金等利息支出 | 23,646 |
| 資産運用収入 | 210,145 | 借入金等返済支出 | 86,550 |
| 資産売却収入 | 866 | 施設関係支出 | 339,933 |
| 事業収入 | 759,060 | 設備関係支出 | 278,348 |
| 雑収入 | 592,914 | 資産運用支出 | 4,803,885 |
| 前受金収入 | 1,723,338 | その他の支出 | 993,073 |
| その他の収入 | 4,788,822 | | |
| 資金収入調整勘定 | △ 2,385,760 | 資金支出調整勘定 | △ 628,663 |
| 前年度繰越支払資金 | 5,780,118 | 次年度繰越支払資金 | 6,369,747 |
| 合計 | 22,527,720 | 合計 | 22,527,720 |

■消費収支計算書 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで (単位:千円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|----------|-------------|--------------|-------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 学生生徒等納付金 | 8,547,627 | 人件費 | 7,658,230 |
| 手数料 | 172,202 | 教育研究経費 | 2,949,226 |
| 寄付金 | 130,436 | 管理経費 | 939,331 |
| 補助金 | 2,249,842 | 借入金等利息 | 23,646 |
| 資産運用収入 | 210,145 | 資産処分差額 | 34,848 |
| 資産売却差額 | 866 | 撤収不能引当金繰入額 | 13,650 |
| 事業収入 | 759,060 | 徴収不能額 | 2,963 |
| 雑収入 | 592,914 | | |
| 帰属収入合計 | 12,663,092 | 消費支出の部合計 | 11,621,894 |
| | | 当年度消費収入超過額 | △ 96,765 |
| | | 前年度繰越消費収入超過額 | △ 1,400,569 |
| 基本金組入額合計 | △ 1,137,963 | 基本金取崩額 | △ 458,522 |
| 消費収入の部合計 | 11,525,129 | 翌年度繰越消費収入超過額 | △ 1,038,812 |

■貸借対照表 平成22年3月31日 (単位:千円)

| 資産の部 | | 負債・基本金・消費収支差額の部 | |
|----------|--------------|-----------------|---------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| (固定資産) | (44,355,714) | (固定負債) | (2,202,531) |
| 土地 | 14,937,028 | 長期借入金 | 808,490 |
| 建物・構築物 | 17,765,538 | 退職給付引当金 | 1,394,041 |
| 機器備品 | 1,647,115 | (流動負債) | (2,675,890) |
| 図書 | 2,711,965 | 短期借入金 | 104,460 |
| その他の固定資産 | 7,294,068 | 前受金 | 1,736,350 |
| (流動資産) | (9,920,868) | その他の流動負債 | 835,080 |
| 現金預金 | 6,369,747 | (基本金の部合計) | (50,436,973) |
| その他の流動資産 | 3,551,121 | (消費収支差額の部合計) | (△ 1,038,812) |
| 合計 | 54,276,582 | 合計 | 54,276,582 |

とこはインフォメーション

| | | | | |
|-------|--------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------------------|
| 常葉大 | ▶ 第2回教職大学院入学試験学外説明会 | 10/2(土) 10:00～ | B-nest(ベガサート)7階 | 大学院教員と院生から教職大学院について説明 |
| | ▶ アクセス入試(造形学部)コミュニケーション入試(外国語学部)体験授業 | 7/10(土) 7/24(土) 7/31(土) 9:00～ | 常葉学園大学 | 体験授業 |
| | ▶ オープンキャンパス2010 常大スマイル | 7/31(土) 8/1(日) 10:00～14:30 | 常葉学園大学 | 説明会・入試対策講座・学食体験・キャンパスツアー・学生相談コーナー・音楽実技体育実技対策講座 他 |
| 浜松大 | ▶ オープンキャンパス | 7/24(土) 8/20(金) 8/21(土) 10/9(土) 10:00～14:30 | 浜松大学 | 学部・学科紹介、学科イベント、個別相談、施設見学など |
| | ▶ こどもむら | 7/24(土) 10:00～12:00 | 浜松大学 自然体験学習園 | ツリーハウスをつくろう水であそぼう |
| 富士常葉大 | ▶ オープンキャンパス | 2010/7/25 | 富士常葉大学 | 各学部ガイダンス、学生の研究発表、体験ミニ講義など |
| 常葉短大 | ▶ 地区別入試相談会 | 7/13(火)～16(金) 16:00～18:00 | 掛川(13日)・静岡(14日)・富士(15日)・沼津(16日) | 常葉短大主催の入試説明及び個別相談会 |
| | ▶ 第2回オープンキャンパス | 7/24(土) 13:00～17:00 | 常葉短大 | 模擬授業・学科紹介・個別相談・キャンパス及び寮見学ツアー |
| | ▶ 音楽科夏期受験講習会 | 8/3(火)～5(木) 9:30～17:00 | 常葉短大 | 音楽理論講習・実技レッスン・実力テスト・試演会 |
| | ▶ 第3回オープンキャンパス | 8/20(金) 13:00～17:00 | 常葉短大 | 模擬授業・学科紹介・個別相談・キャンパス及び寮見学ツアー |
| | ▶ 保育科第1回体験授業 | 8/21(土) 10:00～15:00 | 常葉短大 | 体験授業&面談 |
| | ▶ 第4回オープンキャンパス | 9/11(土) 13:00～17:00 | 常葉短大 | 授業対策講座・個別相談 |
| | ▶ 保育科第2回体験授業 | 9/11(土) 10:00～15:00 | 常葉短大 | 体験授業&面談 |
| 常葉中・高 | ▶ 常葉学園高等学校 学校説明会 | 9月11日(土) 9:00～11:00 | 常葉学園高等学校 | 学校紹介、進路選択アドバイス |
| | ▶ 常葉学園中学校 学校説明会 | 7月17日(土) 9:00～11:00 | 常葉学園中学校 | 学校紹介、体験授業、伝統文化講座見学 |
| | ▶ 常葉学園中学校 学校説明会 | 9月11日(土) 9:00～11:00 | 常葉学園中学校 | 学校紹介、特別企画 |
| 橋中・高 | ▶ 橋中学校第1回学校説明会 | 7/17(土) 14:00～ | 本校 | 学校紹介、施設見学、個別相談 |
| | ▶ 橋中学校第1回プレテスト | 9/19(日) 8:40～ | 本校 | 公開模試 |
| 静岡リハ専 | ▶ キャンパス見学会 | 7/25 8/22 9/12 10/3 9:30～受付開始 | 本校校舎 | 全体説明会・体験授業・施設見学・個別相談会・在校生との交流 |

親子遠足
に行っちゃよ!

年中組に進級・入園し、新しい友だちがたくさん出来ました。もっともっと仲良しになれるように親子遠足へ出かけました。あいにくのお天気で雨天のコースとなりましたが、秋のお泊まり保育の下見を兼ねた研修センター見学をしたり、常葉短大の広い体育館で親子ふれあい遊びをしたりして、楽しく過ごすことが出来ました。短大では、学生さんに優しく声を掛けてもらったり、お菓子をプレゼントしたりする姿があり、子どもたちも大喜びでした。昼食後には、短大生や保護者による素敵なコンサートがあり、大満足の日となりました。



とこは
幼

たのしい
ようちえん



たちはな
幼

富士大のお兄さん、
お姉さんとあそんだよ

年長の親子遠足は富士常葉大学と富士総合運動公園に行きました。当日は天気も良く、年少・年中の時は雨続きの親子遠足だったので、子ども達も保護者の方々も念願の晴天で大満足でした。富士大では、三年生の保育科の学生さんが子ども達と一緒にペアを組んで体育館いっぱい広がって円を作り、楽しく歌とダンスをして遊んで頂きました。最初ははさしがしがついていた子どももすぐに慣れ、親しく手をつないでいる姿も見られました。最後に一人ずつ素敵なペンダントを頂き大喜びの子ども達でした。今回親子遠足を通し、学園内の大学生と子ども達の交流を持たせて頂く機会に恵まれ、有意義な一日となり、本当に良かったです。